

## 令和6年度 第2回 学校運営協議会 会議録 (要点記録)

- 1 開催日時 令和6年7月10日(水) 13時～15時まで
- 2 開催場所 清竜中学校 多目的室
- 3 出席委員 田村和史、藤井信男、西田躬穂、内藤留美子、阿蔵直子、森下伸弘、出野光雄、鈴木省吾、濱田佳代子
- 4 欠席委員 なし
- 5 学校支援コーディネーター 野口めぐみ
- 6 学 校 袴田 稔(校長)、嶋田喜守(教頭)、中村栄里(CS担当)、渡邊理保(CSディレクター)
- 7 教育委員会 教育総務課 井島健蔵
- 8 傍 聴 者 なし
- 9 協議事項
  - (1) 議長の選出
  - (2) 前回会議録確認
  - (3) 部活動の地域移行について
- 10 会議録作成者 CSディレクター 渡邊理保
- 11 会議記録
  - ・司会の 嶋田喜守 教頭から、委員総数9名のうち10名の出席があり、過半数を超えているため会議が成立している旨の報告があった。
  - (1) 議長の選出
    - ・司会から議長の選出について委員に意見を求めたところ、濱田佳代子委員を推挙する旨の発言があり、協議の結果全員異議なくこれを承認した。
  - (2) 前回会議録確認
    - ・議長の指示により、嶋田喜守 教頭から資料に基づき説明があった。
  - (3) 部活動の地域移行について
    - ・議長の指示により、嶋田喜守 教頭から資料に基づき説明があり、委員より以下の発言があった。
      - 子どもの有志性を出して活躍できる場になっていくとよいと思う。(出野委員)
      - 学校側は部活動以外で活躍している生徒たちも学校で紹介して称揚しようという意識を持っている。(藤井委員)

- 外部で活躍している子供たちは学校側も称揚したいし、受け皿として色々な形があると思う。(教頭)
- 自分も実際に外部指導を行っているが、中学は土台を作る場、高校は土台から一歩進んで技術やパワーを鍛えていく場で、中学は楽しんで続けることが大事だと思う。また、平日と休日でそれぞれの指導者から指導を受けると、生徒が混乱してしまう可能性もあるのでできれば一本化が望ましい。(鈴木委員)
- 野球部は天竜区合同のチームであるが、どのように練習をしているのか。(内藤委員)
- 平日は学校、休日は集まって練習や試合を行っていて、常に顧問同意で連絡を取り合い活動している。どの生徒も部活動にとっても意欲的である。(教頭)
- 地域移行になった場合、学校の教員がもっとやりたいという場合の受け皿はあるか。(田村委員)
- 現在そのようなことも想定して準備を進めているところである。(教頭)
- 部活動指導員や地域クラブがない部活動は現在の活動状況を教えてほしい。(西田委員)
- 卓球部、吹奏楽部は土曜日に顧問が実施する。美術部については平日のみの実施になっている。特に、芸術系の人材が不足している。(教頭)
- 芸術系については、人材だけでなく、場所や道具の活用についての問題もあり、現在検討しているところである。(森下委員)
- 吹奏楽部については個人で準備できないものもあるので、複数校集まって行うほうがよいのではないかと。また、地域の人材も知っている方がいるので紹介させてもらう。(鈴木委員)
- 外部のクラブに参加している生徒は、部活動にも参加しているのか。また、土日はどのように活動しているのか。(田村委員)
- 一部の生徒は部活動に参加している。しかし、土日については、クラブに参加している。(教頭)
- 平日の部活動、土日は外部で別の種目を行うという形でもよいのではないかと。(田村委員)
- そのような形もあってよいと考える。今後そのような形もでてくることが予想される。(教頭)
- 外部のクラブはお金がかかる。今回の地域クラブはクラブのようにはかからない。費用面ではこれから考えていく必要がある。(鈴木委員)
- 清竜中学校の部活動の規定は、変わっていないのか。(森下委員)
- 以前策定した規定で行っているが、今後見直しをしていくこともあるかもしれない(教頭)
- 土日の部活動が地域移行することでよい面もあると考えるので、保護者の意識を変えていくことも必要ではないかと思う。(森下委員)
- 地域移行を急激にかえるのではなく少しずつ変えていく形もよいのではないかと。(田村委員)
- 令和8年度9月から順次変えていくために地域の受け皿を整備していくこととどのように変わっていくのかということをお小学校にも伝えていく必要がある。(森下委員)
- 来年度入学する中学生が対象となるため、アンケートをとり情報を集めて、地域クラブの受け皿も含めてより良い形を今後も検討していきたい。(教頭)

#### その他連絡事項等

- ・ 司会から、第3回学校運営協議会の開催日程の報告があった。  
令和6年度 11月25日(月) 14:00～